

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970102008		
法人名	ドリームワークス有限会社		
事業所名	グループホーム ドリーム		
所在地	山梨県甲府市川田町367-1		
自己評価作成日	平成21年11月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成22年1月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

果樹地帯の中で、大家族が協力し合って生活するように、利用者とスタッフが、生き生きと充実した生活を送っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設は、施設長が生まれ育った所にあり、隣接して自宅もある。そのため、顔馴染みの人が多く住んでいて、地域との交流が自然な形で行われている。北側に広い果物畑があり、そこでとれた季節の果物をいただき、お茶をさしあげているという交流がある。施設内は無駄な物がなく、すっきりと整理整頓され、清潔感が感じられる。掲示物も、心がこもった暖かいものが飾られてある。職員は、今までの利用者との関わりやレベルアップのための研修を通して、自分のしていることが、鏡のように映ることが理解できるまでにいたっている。職員同士のチームワークの良さや利用者達のコミュニケーションもみうけられ、グループホーム本来の姿が感じられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「家庭的な生活・人権の尊重・地域に根ざした支援」を盛り込んだ地域密着型サービスの理念を、開設当初より作り上げています。	職員会議の時、施設長が必ず理念の話をして、意識の共有を確認している。利用者の気持ちに添うこと、地域の方々に積極的に挨拶することなど、理念を理解してケアにあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており、地域の行事やお祭り等へ参加したり、近所を散歩する時などは、地域の皆様が話しかけてくれたり、季節の野菜や果物を頂くこともあります。また、小学生が介護の学習のため家族と共に訪れることもあり、地域に溶け込んだ交流を行っています。	近所への散歩時の挨拶や話、地域の行事やお祭りへの参加、季節の野菜や果物をいただき、お茶を畑まで持って行ったり、知人の子供達が立ち寄り車イスを見ていくなど、自然な形で交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	子供達や家族の見学を受入、認知症に対する理解を深めてもらったり、地域の家族からの相談を受ける等、ドリームでの知識を活かして地域貢献に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、定期的に会議を開き、利用者やスタッフ等の現況報告と出席者からの意見を受け、より良いサービスの向上に努めています。	2か月に1回、会議を実施して、会議録もきちんと整理されてある。メンバーは、包括センターの職員・家族代表・地域代表・施設長である。主に施設の現況報告で、議題になるものが少ない。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事務手続きなどで市役所を訪れた時に、介護保険課に寄り、現況や取組みを伝えるように努めています。	利用者の介護度が増して、施設の利用が出来ない場合の相談をしている。事務手続きで市役所に行く時は、必ず担当者に会い、挨拶をするようにしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等については、職員会議の際に周知徹底し、利用者の安全に気を配りながら、拘束の無いサービスに努めています。	会議や新入研修時に字書をし、意識の徹底を図っている。利用者が眠れない時、添い寝をして、気持ちに添うようにしている。「待ってね」を「今行きますよ」と言葉かけをして、言葉の違いを理解して工夫しながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の議題にも取り上げて、全職員で虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現利用者の中に、成年後見人がついている方が居り、全スタッフとも成年後見人制度を理解しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、家族に対し契約書を基に契約内容を十分に説明し、質問にお答えし、十分に理解いただいてから契約し、入居していただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱を設け、更に口頭でも家族や利用者が、常に意見要望を出しやすい雰囲気作りにも努めています。	家族が面会に来た時、自然に話をしてくる。利用者との意識のずれの悩みを、ざっくばらんに言うことが多い。施設での様子、必要な物、不足している物などを聞いてくる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングの際や職員会議の際等、常に職員の意見に耳を傾けている。	職員はミーティングや職員会議の時に、提案・意見をだしている。半数以上職員が同意すれば、すぐに実施している。検討が必要な事は会議で話し合っている。年々意見が言いやすく、通りやすくなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの業務内容や効果等を常に把握し、スタッフがサービスの向上に向け、努力できるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る限り外部の研修に参加する機会を設け、その内容をスタッフ全員に伝え、常に介護技術の向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームとの交流及び合同研修には積極的に参加させ、また相互訪問により、更なる質の向上に努めている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から、担当のケアマネージャーと家族から十分に情報を得て、入居当日から安心して快適に過ごせるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学の時点から、ドリームの内容を詳細に説明し、十分ご理解いただいているので、入居時点では、家族も十分に納得し、良好な関係になっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報を、担当ケアマネージャーや家族から聞き、入居してからの最適なサービスの提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者、スタッフが共に生活する仲間として掃除・皿洗い等、出来ることは無理の無い範囲で、利用者にも手伝ってもらい、食事も		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の生活状況を、毎月、家族に報告し、問題があれば、家族と十分協議をして、サービス提供に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と共に以前から親しくしている方が面会に来たりして、馴染みの場所の情報も入れてもらっています。	面会・外出・外泊は自由になっている。家族が昼食に連れて行ったり、県外の娘がとまったり、兄弟が訪問してくる。その際、利用者の昔の勤務先や好きだった場所などを聞いて支援の参考にしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ドリーム内が、家族のように暖かい雰囲気を保てるよう利用者間、利用者のスタッフ間の関係作りには、常に注意を払っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居してからも、家族にその後の様子を伺い、希望があれば相談に乗り、その他できることは支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常日頃から、利用者の思いや希望を把握し、出来る限り、本人の希望する生活の援助に努めています。	日常のケアや生活歴から、利用者の思いや希望をくみ取り、最善の方法を判断して対応している。100パーセント聞き取るのではなく、本人のプラスになる方向に支援している。夜中に摂食の希望がある時、体に負担にならない物を出している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当ケアマネージャーや家族から、入居前に十分情報を得ています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの傾向や心身状態を、日頃から把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ・ご家族・医師・看護師・ソーシャルワーカー等と十分に協議しながら、介護計画を策定しています。	協力病院の担当医・看護師に相談している。日頃から、コンセンサスをとりながら進めている。職員・家族の話も参考にして、十分に協議して計画書を作っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者別にサービス提供記録を設け、その情報を全職員が共有し、より良いサービスの向上に活かしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状況や家族からの意見要望を柔軟に取り入れながら、サービス提供に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターが主催する学習会へ参加したり、また、相談に答えてもらいながら、利用者個々の豊かな生活の援助に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の担当医とは、常に連携しており、他の診療科とも連携をとりながら、ドリームと病院とで協力しながら、利用者の健康管理に努めています。	入居時に、かかりつけ医を協力病院に変更してもらっている。通院時は職員が付き添い、経過を家族に報告している。現在までに、困ったことはない。場合によっては、紹介状をもらい、他の病院に連れていく時もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師訪問時の他、利用者の状態に異変を感じた時は、常時、看護師と連絡が取れるようになっており、アドバイスや指示を受け、必要に応じて受診しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療の担当医や看護師とは、常に連携をとり、入院した際も、入院先の担当医やソーシャルワーカーと緊密に情報交換をして、早期退院と退院後の支援に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と本人には、ドリームの介護能力や病院の協力体制を十分に説明し、入居してからも、家族には常に状況を報告し、納得した中で支援しています。	家族に重度化・終末期の方針を説明して、理解を得ている。ターミナルケアの準備はあるが、現在は準ターミナルの位置づけであり、摂食が難しくなれば、協力病院に入院することになっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、それに沿って急変や緊急時に対応できるよう、常に周知徹底しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	管理者が元地元消防団員であり、災害時の備えについては、全スタッフに周知徹底し、地域とも連携し非常時に備えています。	年2回、昼間・夜間1回づつ、避難訓練を実施している。自治会や消防署との協力は無い。職員は避難経路を熟知していて、利用者が怖がらないように、スピードを落として誘導することができている。	施設は施設長の自宅の隣で、緊急時は、すぐに来てくれて対応ができるので地域との協力をとっていないが、何かあった時、地域を巻き込む事が考えられるので、訓練の際には協力体制を築く事を期待している
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に対する態度や言葉掛けなどについては、採用時から十分に理解させ、スタッフ間でも常に確認しあっています。	新人研修時に、プライバシーに関して十分に学習している。不適切な言葉かけがあった場合はその場で、また場所をかえて話をしている。常に職員は、利用者を人生の先輩として考えている。方向性を見失った時、原点に戻る事を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が、常に希望・要望を言えるよう、雰囲気作りにも配慮しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・睡眠・レク・排泄等、利用者個々のペースに合わせた支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容から洋服選びまで、身の回りのお洒落には気をつけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の持てる力に合わせて、出来る方には準備や後片付けを手伝ってもらっています。	施設内で調理している。本人の力に応じて利用者が、台ふき・皿洗い・食器ふき・前掛けをたたんだりしている。滑らないトレイや利用者が好んで選んだ絵柄のコップを使用、また、姿勢を保つため、いすに背当てクッションを置くことなど工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の状態に合わせ栄養士が計算し、それに合ったメニューやお茶などの水分を提供しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず全員の口腔ケアを行い、衛生管理に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者個々のペースを把握し、それに合わせてトイレ誘導を行い、出来る限り自立、または自立に近い状態になるよう支援しています。	排泄チェック表を見て誘導している。また、食事の前後、お茶前等の区切りの時に、さりげなく働きかけをするようにしている。パンツからリハビリパンツへの提案があった時、検討して、現状維持を保つため工夫して支援することになった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者個々の状態を把握し、それに合わせたメニューにより便秘防止に努めています。また、それでも便秘する場合は、医師・看護師と相談し、服薬や浣腸で対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は、必ず一人ひとり入ってもらいます。また、希望すれば夜間や入浴日以外の入浴も可能です。	月・木の午後、入浴している。希望すれば夜間、入浴日以外の日に入れる。入りがらない利用者には、言葉かけを工夫して脱衣場にきてもらい入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の状態に合わせてベッドを配置し、安心してゆっくり休める様配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・看護師と綿密に連携していますので、薬については十分理解しており、個々の状態の変化によっても、量を変えたりしながら、健康管理に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個室を自由に使ってもらっていますので、思い出の品や、馴染みの家具を置いておける様になっています。また、個々の好みに応じて、散歩やドライブや様々な屋内レクリエーションを行いながら、日々張りのある生活が出来るよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	晴れた日は、出来る限り散歩に出かけたり、ドライブに出かけています。また、家族と共に遠出することもあります。	天気の良い日の午前中に散歩している。外食ランチも含めて、年間外出行事計画がある。全利用者の外出活動は、危険を伴い負担も大きい事の反省を踏まえ、3人1グループの行動にしている。地域の人達との外出活動は、やはり規模が大きくなりすぎ負担が考えられるので実施していない。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近くのスーパーで買い物を楽します。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時々電話で話をしたり、ハガキを出しています。また、書けない利用者のために、写真入りのハガキを印刷し発送しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光や風通し・空調については、季節に応じて快適に過ごせる様、配慮しています。また、BGMも快適な音量になる様、配慮しています。	施設全体が整理整頓され、清潔感がある。写真や暖かみのある作品が掲示してある。明るい居間で、職員と利用者が、かるたとりや合唱をしている。フロアの一角に、畳コーナーがあり利用者が昼寝をしたり、洗濯物をたたんだりして、さまざまな活動の場になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の食事用テーブルの他に、畳スペースやソファなどもあり、利用者個々が思い思いに過ごせる様、配慮してあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への持ち込みは自由になっていますので、記念の品や思い出の家具など、自由に配置し、利用者個々が、心地よく過ごせる様、配慮しています。	利用者のなじみの物、仏壇、こたつ、テレビなどを持ってきている。押し入れが広く、たくさん持ち込むことができる。ドアに、木の名前札と共に顔写真が貼られて、わかりやすいように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はフラット構造になっているので、出来る方には掃除のお手伝いをしてもらったり、リハビリに利用したりしています。		